科目名	レクリエーション論【理学・作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	上 城 憲 司・藤 原 和 彦						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい	リハビリテーションの現場において、解剖学・運動学・認知科学・各疾患論などの基礎知識に加えレクリエーションの基礎知識をベースに、レクリエーションの具体的な方法と技術を習得し実践できるように教授する。						
授業の 到達目標	1) コミュニケーション・ワーク（ホスピタリティトレーニング、アイスブレイキング）の方法を説明及び実施できる 2) 様々な素材を活用したりアレンジしながらレク支援ができる 3) 具体的な疾患をもった事例を意識したレクリエーションを計画・実施できる						
学習方法	実技、グループワーク、発表						
テキスト及び 参考書等	レクリエーションー社会参加を促す治療的レクリエーションー、監修：寺山 久美子，三輪書店 レク活動の考え方と広がり方，岡野 純毅，雲母書房						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	◎	○	◎		60	
授業態度			◎	◎		20	
受講者の発表			◎	◎		20	
授業への参加度							
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	レクリエーションと作業療法（講義）						
第 2 週	レクリエーションの計画（講義）						
第 3 週	レクリエーションの計画の実際（グループ討論）						
第 4 週	レクリエーションの計画（講義）						
第 5 週	レクリエーションの実際①（準備、予行練習）						
第 6 週	レクリエーションの実際②（実習）						
第 7 週	レクリエーションの実際③（実習）						
第 8 週	高齢者を想定したレクリエーションの計画①						
第 9 週	高齢者を想定したレクリエーションの実際①（準備、予行練習）						
第 10 週	高齢者を想定したレクリエーションの実際②（実習）						
第 11 週	高齢者を想定したレクリエーションの実際③（実習）						
第 12 週	片麻痺を想定したレクリエーションの計画①						
第 13 週	片麻痺を想定したレクリエーションの実際①（準備、予行練習）						
第 14 週	片麻痺を想定したレクリエーションの実際②（実習）						
第 15 週	片麻痺を想定したレクリエーションの実際③（実習）						
第 16 週							
備考	実技ができる服装で参加すること。授業場所を事前に確認すること。 事前学習・事後学習をおこなうこと。						